



CUSTOM ORDER SYSTEM

どうしても満足出来るギターに巡り合えない。
自分だけのオリジナルギターが欲しい。
そんな要望に応えるため、ESPは1975年にオーダーメイドシステムを
スタートさせました。

その熱いスピリットは今でもクラフトマンに受け継がれています。
四半世紀に及ぶ、実績によるノウハウの蓄積は、プロ・ミュージシャンからの
高い評価によっても証明されています。
オーナーの夢を叶える。それがオーダーメイドです。

Discussion / Planning ディスカッション・プランニング

1

まずは御相談という形でお受けします。専門知識に自信がなくても問題ありません。担当者がお手伝いします。ディスカッションにより、形が見えてきたものを具体化してオーダーシートを記入します。

Estimate 見積り

2

オーダーシートの内容により、価格が決定します。
もちろん希望価格に応じたプランニングによる見積もりも可能です。
※ ここまでは完全無料のシステムです。納得されるまで何度でも見積もりは可能です。

Order 発注

3

お支払い方法が決定した時点で正式オーダーとなりESP各工房へ発注されます。
フルオリジナル・シェイプの場合、図面確認も可能です。
※ 未定事項がある場合、発注時期が遅れることがあります。予めご了承ください。

Production 製作

4

熟練のクラフトマンにより責任をもって製作されます。
途中でシェイプや色を確認されたい方は御相談下さい。
※ 製作期間は平均5ヶ月以上いただいておりますが、素材、パーツの入手状況、加工の難易度によって納期変動します。

Delivery of goods 納品

5

納品直前に完全調整してお渡します。カスタムオーダー品の保証期間は5年です。
期間内、保証規定内のメンテナンス等は全て無料です。
※ お申し込みは全国ESPカスタマーサービスセンター、全国有名楽器店にてお受けいたします。

ボディ、ネックマテリアル

優れた楽器を作るには上質な木材を使う事が絶対条件です。
美しい木肌や質感を備え、望み通りの鳴りを持つ楽器は、演奏者に安心感を与え、イマジネーションを刺激します。
ただし楽器として成立するためには、長いシーズニング期間を経て、割れ、狂いのない選ばれた物である必要があります。その選り抜かれた素材のみを元に楽器を製作できる事を、我々は誇りにし、その喜びをカスタマーと共に分かち合いたいと考えています。

※ ここに紹介したもの以外の特殊材も入手可能ですので、御相談下さい。



Alder

クセの少ない枯れたトーンが特徴。PU、パーツの特性を反映しやすく安定している。加工性も良い。



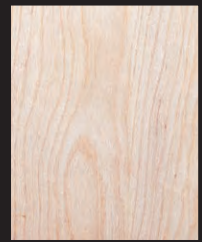
White Ash

やや重い音域のバランス、サステーンともに良好。ベースのボディ材として特に優れている。



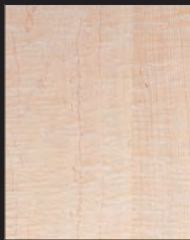
Swamp Ash

ホワイトアッシュの亜種だが、重量は軽く音抜けが良い。また、シングルPUとの相性が抜群に良い。



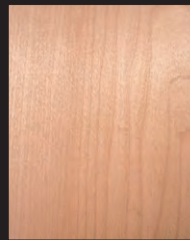
Hard Maple

強度が高く、アタック、サステーンに優れている。クリアなサウンドで、指板に使うと音抜けも良い。



Soft Maple

クセが少なく大人しい音質だが、独特の粘りを持つ。非常に美しい杻が出やすいが比例して高価。



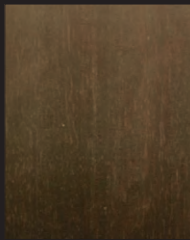
Rosewood

硬度、手触り等、指板に求められる特性をバランスよく持っており、現在最もポピュラーな指板材。



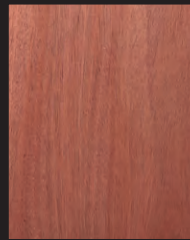
Ebony

ローズウッドより硬度、密度が高いためサステーンも良い。磨くと光沢が出て、滑りも良好となる。



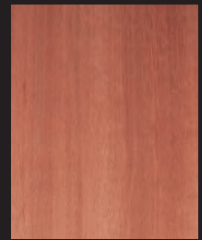
Honduras Mahogany

古くからボディ材、ネック材として使用。中低域を中心とした豊かなトーンで、他の材とのラミネートも相性が良い。



Mahogany

ホンジュラスマホガニーと同属の材。やや強度は落ちるものの、重量は若干軽めで鳴りも良い。



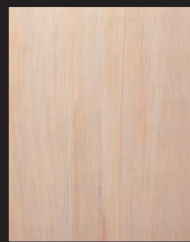
Wenge

独特のルックスを持ち、手触りも良いが、加工は難しい。硬くて重い。鳴りも良いという特殊な材。



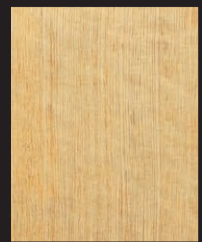
Basswood

非常に軽く、鳴りは良いがサステーンに欠けるため、硬い材をラミネートしたり、重いブリッジを搭載することでバランスの良い楽器になる。



Korina

木質、音質共にマホガニーに近いが、マホガニーと比べてややトレブリーで、独特の粘りに特徴がある。



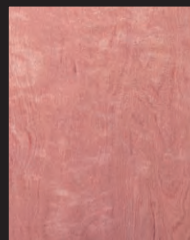
Walnut

独特の渋い色に魅力がある。中低音が太いという特性を持ち、ベースのボディ材として人気がある。



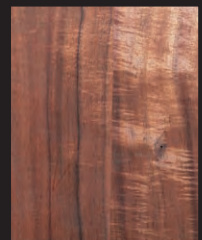
Bubinga

硬くて重い材でその印象通りの音がする。重低音のロスがないサステーンを持たせることが可能。



Koa

褐色の木肌は美しく、遅い中音域と粘りを合わせて持っている。フレーム状の杻が出たものは貴重。



ボディ材

採れる大きさ、厚さ制限のある材料もありますが、基本的に単板2ピースが可能です。マホガニー等、大きめの木は1ピースが基本です。



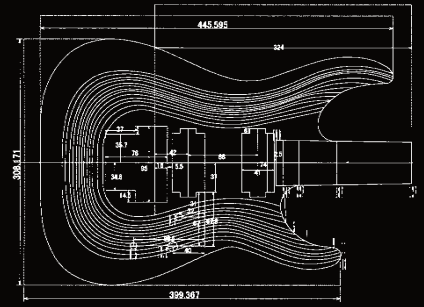
ネック材

剛性、安定度の面からメイプルまたはマホガニーをお勧めします。他の材については御相談下さい。1ピース、3ピースを基本に各種ラミネートも可能です。



ボディシェイプ

スタンダードなものから、ESPオリジナルシェイプ、もちろんあなただけのフル・オリジナルシェイプも可能です。
具体的な図面、スケッチを持ち込まれても構いませんし、イメージだけスタッフに伝えてもらうことでも実現可能です。



ボディ構造

ボルトオンネック

ボディとネックは別行程で仕上げられ、ネジによって固定されます。
倍音の整理されたメリハリのあるサウンドです。



レギュラースタイル



スラントカット



スターカット



クイーンカット



KTカット

セットネック

ボディとネックは途中まで別行程で作られ、接着剤で強固に固定されます。
豊かな倍音が特徴です。



レギュラースタイル



SNカット



ヒールレスカット

スルーネック

ボディエンドまでネック材があり、両サイドにウイングと呼ばれるボディ材が貼り合わされます。
タイトな低音域とロングサステーンが得られます。



レギュラースタイル



ヒールレスカット

ボディ材のコンビネーション

単板

(同一材のみのボディ)



トップ貼り



ドロップトップ

エルボーカットに沿ってトップ材を曲げてラミネートする方法です。



セミホロー

トップ(バック)ラミネート前にサウンドチェンバーをあらかじめ空け、フタをするように接着します。



その他のボディ加工

アーチドトップ

見た目の美しさもさることながら、弦振動をボディに伝えてフィードバックさせる効果があります。



ペベルドカット

ボディ・デザインをシャープに見せ、体にフィットさせる役目もあります。



ペベル & アーチ

ペベルドカットとアーチを組み合わせたもので、ギターに個性的なルックスを与えます。



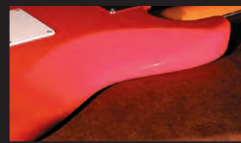
エルボーカット

ピッキング時、ボディに肘が当たるストレスを軽減し、プレイスタイルを安定させます。



ウエストカット

体へのフィット感を上げ、ボディ・ポジションを安定させます。



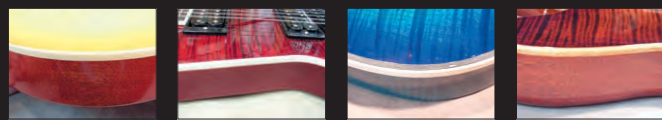
ボディエッジR

エッジRの違いはルックスを大きく変えますが、音質的にも大きいRはマイルドに、小さいRはエッジになります。



バイディング

ビンテージ・テイストな高級感を出せます。



ピックアップ

あらゆるタイプから選択可能です。取り付け位置やマウント方法もお選び下さい。



ブリッジ

あらゆるものをマウント可能です。機能、音質は御相談下さい。



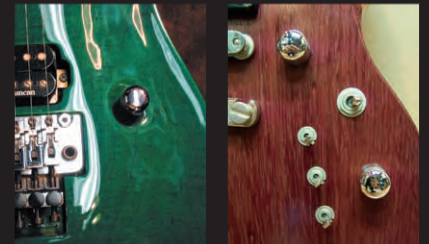
ピックガード

各色、オリジナル・シェイプが可能です。



ワイヤリング

ワンボリューム・オンリーから特殊配線までレイアウトも自由に考えられます。



ストラップピン

たかがストラップピンと言えども、ルックスに影響します。またライブでのストラップ脱着にお悩みの方にはロック式のものをお勧めします。



スイッチ

操作性、ルックス共様々です。用途に応じてお選び下さい。



ボリューム、トーンノブ

ノブひとつでもギター表情が変わるものです。



ジャック



指板材

ルックスが大きく変わる部分ですが、音質、感触にも違いがあるので好みに応じて選んでください。ラウンド貼りも可能です。

指板R

指板面の丸みは好みに応じて指定できます。170R、240R、305R、320R、400Rの5つが基本です。(Rとは丸みの半径を表したものです)

ヘッドシェイプ

ボディ同様、あらゆる形が可能です。



ヘッド構造

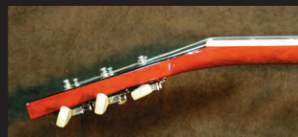
角度なし

段つきネックとも呼ばれるスタイルでメイプル材を使用することで抜群の強度を誇ります。テンションピン、テンションバーが必要になります。



角度つき

基本は14°ですが10°~17°まで対応できます。角度が小さいほどサステインが長く、テンションは低くなり、大きくなるほどアタックが強く、テンションは高くなります。



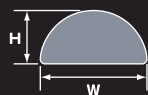
スケール

弦は長くなると音程感は良くなりますが、テンションは強くなります。逆に短くなるとテンションは低くなりますが、音程は不安定になります。ギターで6種類、ベースで3種類のスケールが選べます。

Guitar	610mm(S) / 624mm(M) / 628mm(M) / 648mm(L) / 666mm(EXL) / 686mm(SL)
Bass	815mm(M) / 864mm(L) / 889mm(SL)

フレット

フレット数で一般的なのはギターで21、22、24、ベースで20、21、24ですが、さらに増やすことも可能です。フレットの形状は7種類用意されています。フレットが高い方が軽いタッチで押弦でき、チョーキングも楽ですが、フィンガリングには慣れが必要です。幅の狭いものは音程感が良く、立ち上がりも良好です。幅の広いものはフィンガリングのスムーズ感が高いと言えます。#216Aは横から見て三角に近く、全ての要素を取り入れた形状です。

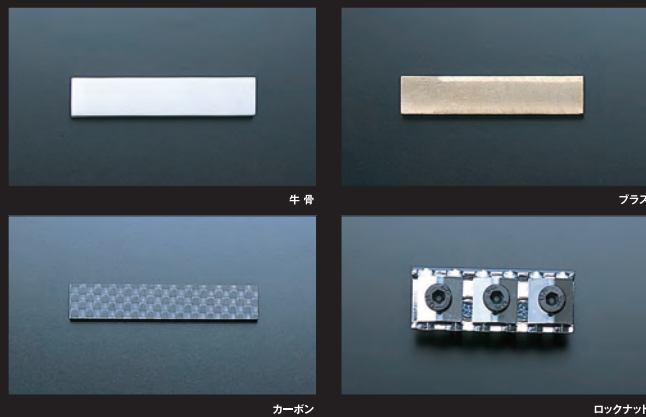


#23	#24	#214	#214H	#213	#216	#216A
W 2.0	W 2.0	W 2.4	W 2.4	W 2.7	W 2.8	W 2.8
H 1.0	H 1.3	H 1.2	H 1.3	H 1.0	H 1.4	H 1.3

ナット幅

ギターは40mm~46mm、ベース38mm~46mmの範囲をお勧めします。多弦ギター/ベースは必要に応じて幅を広げることになります。参考までにレギュラー・スタイルの平均値はギター42mm、JB38mm、PB42mmです。

ナット材



グリップシェイプ

厚み、形状共に指定可能です。下の断面図を参考にしてください。

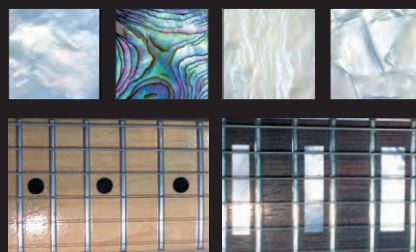
※ サンプルとして御自分のギターの持ち込みも可能です。 ※ グリップ感は指板Rによっても異なります。



ポジションマーク

ポジションマークはスタンダードな四角や丸からオリジナルデザインまで対応可能です。

塗装をするメイプル指板にはペイントやインスタントレタリングでマークを入れることもできます。



チューニング・ペグ

オープンギア、クローズギア、ロックタイプ等、あらゆる種類から選択可能。ルックス、音にも影響します。



塗料の種類

ニトロセルロースラッカー系

独自の美しい光沢、暖かみのある感触を持ちます。年月を経ることで徐々に収縮して木材に馴染み、木肌を塗面に映していきます。音質的にも木材の鳴りと共に熟成します。塗膜強度の低さもむしろメリットと捉えるべきでしょう。

ポリウレタン・ポリエステル系

ギターの保護という面で最も優れた塗料です。温度、湿度の変化による木材の反り、割れを防ぎ、耐衝撃性、耐溶剤性の面でも安心できます。また、完全硬化が早いいため楽器としての安定期に入るのも早いと言えます。

オイルフィニッシュ

木材本来の手触りを活かした塗装です。木工の仕上げ磨きに時間をかけ、特殊オイルを浸透させた後、さらに磨き込みます。乾燥、キズ、汚れには気を遣いますが、その上品な風合いには他に換えがたい魅力があります。

カラーリング

大まかに分けると、木目を見せるシースルー着色と木目をつぶすソリッドカラー着色、メタリック着色があります。別表のカラー・バリエーション、及びカタログ製品のカラーを参考にして下さい。また、カラー・サンプル、写真をお持ちいただければオリジナル・カラーも可能です。



※ ここにあげたカラーはあくまで一例です。また、シースルー着色は木肌の色におおきく左右されます。印刷の都合上、実際とは多少異なります。

塗装の種類

生地着色

材に下地着色をする前に、直接着色料をすり込むことで、木目を強調したシースルー着色にする手法です。木質や部位によって色を吸い込む量が異なり、それが独特の味となります。

パールカラー

着色層の上にF.F.と呼ばれる微粒粉を吹き付け、真珠のような輝きを得る手法です。下地の色を活かしつつ、光の向きによってF.F.が美しく発色します。F.F.のカラーについてはご相談ください。

グラフィック、その他

単純なストライプから色の塗分け、エアブラシによるグラフィックまで、あらゆる物が可能です。また、お気に入りの写真、ポスター、布などを貼り込むこともできます。



ラメ・スパークル

いわゆるラメ塗装で、見た目の派手さは最高です。粒の大きさも選べます。

マットフィニッシュ

いわゆるつや消し仕上げで、渋く落ち着いた風合いになります。ネック裏に使うことで滑りをよくする効果もあります。また、つや消しの具合も選べます。

マジョーラ

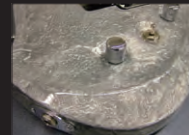
見る角度によって玉虫色に劇的な色調変化を起こすカラーです。



※マジョーラは日本ペイントの登録商標です。

リキッドメタル

特殊な塗料で、流体金属のようなルックスに仕上がります。上塗りに着色することで、雰囲気が変わります。



組み込み

美しく仕上がったギターも、最終的なパーツの組み込みや各部の調整によって生きも死にもします。ESPでは専任のクラフトマンがトップレベルの技術で最終調整します。

セッティング指定

オーナーの好みに合わせ、きめ細かいセッティングが可能なのもオーダーメイドの魅力です。こだわりによっては設計時の検討が必要になります。

弦

原則としてCLEARSTONE弦を使用しますが、他ブランドの指定、持ち込みも可能です。弦の太さによってネックのセッティングが変わりますので、必ず弦のゲージ指定とチューニングの指定をして下さい。

弦高

特に指定がなければESPファクトリー出荷時の標準弦高に合わせます。高くすればアタックが強くなりアーな音質となり、低くするとフィンガリングは楽ですがフレットノイズは多くなります。

トレモロ・ユニット

トレモロ・ユニットのフローティング具合の好みは個人差が大きいものです。事前に指定して頂くことで、ベストなセッティングでお渡りできます。

